

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【公表番号】特表2014-509285(P2014-509285A)

【公表日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-019

【出願番号】特願2013-548623(P2013-548623)

【国際特許分類】

B 6 5 D 81/32 (2006.01)

B 6 5 D 51/24 (2006.01)

B 6 5 D 25/02 (2006.01)

A 4 7 J 43/27 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 81/32 T

B 6 5 D 51/24 Z

B 6 5 D 25/02 Z

A 4 7 J 43/27

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月9日(2015.1.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

混合用の携帯器具であって、

少なくとも一つの壁部と密閉底部とにより画定される内部を有し、前記壁部が上面を有するハウジングと、

前記ハウジングに着脱式に装着される構造を持つ蓋体であって、密閉式スパウトを有する蓋体と、

前記ハウジングの前記密閉底部に着脱式に装着される構造を持つ保存区画と、複数のリブと複数の円形接続部材との交差により形成される複数の開口部を有して、前記円形接続部材のうちの第1部材が前記壁部の前記上面に当接する形態を持つ、着脱式の混合要素と、

を備える器具。

【請求項2】

前記混合要素が円錐形状を有し、前記円形接続部材のうちの前記第1部材が第1直径を有して、前記円形接続部材のうちの第2部材が前記第1直径より小さい第2直径を有し、前記円形接続部材のうちの前記第2部材が前記ハウジングの前記内部に配置される構造を持つ、請求項1に記載の器具。

【請求項3】

前記混合要素が、前記円形接続部材のうちの第3部材を含み、前記円形接続部材のうちの前記第1、第2、および第3部材が、長手軸に沿って整列された同心円形リングであり、前記第3部材は前記第1部材と前記第2部材との間にあり、請求項2に記載の器具。

【請求項4】

前記円形接続部材のうちの前記第3部材が、前記第1直径より小さく前記第2直径より大きい第3直径を有する、請求項3に記載の器具。

**【請求項 5】**

前記円形接続部材のうちの前記第2部材が、前記第2部材の片側から前記第2部材の反対側まで延在する剛性バーを含む、請求項1に記載の器具。

**【請求項 6】**

前記複数の開口部が、前記接続部材のうちの前記第1部材と前記第3部材との間に配置された第1セットと、前記接続部材のうちの前記第3部材と前記第2部材との間に配置された第2セットとを含み、前記第1開口部セットの各開口部が第1面積を有して、前記第2開口部セットの各開口部が第2面積を有し、前記第1面積が前記第2面積より大きい、請求項3に記載の器具。

**【請求項 7】**

前記壁部の上面が階段状の上面である、請求項1に記載の器具。

**【請求項 8】**

前記蓋体が、  
外面と内面とを有する側壁と、  
前記側壁の前記内面の一部分にある複数のねじ山と、  
前記側壁の前記内面にある従順密封部材と、  
を含む、請求項2に記載の携帯器具。

**【請求項 9】**

前記蓋体がさらに第1および第2把持部材を含み、前記側壁の前記外面の一部分を形成する第1部分と、前記蓋体の上面と合致する第2部分と、前記側壁の前記内面にある前記従順密封部材に結合される第3部分とを各把持部材が有し、前記第3部分が前記側壁の前記外面から前記側壁の前記内面まで貫通している、請求項8に記載の携帯器具。

**【請求項 10】**

混合用の器具であって、  
開口端部と、密閉端部と、前記開口端部と前記密閉端部とを離隔する少なくとも一つの壁部により画定される内部とを有するハウジングであって、前記開口端部に隣接する前記壁部の第1面に配置された棚部も含むハウジングと、  
前記ハウジングに着脱式に装着される構造を持つ蓋体であって、密閉式スパウトを有する蓋体と、

前記ハウジングの前記密閉端部に着脱式に装着される構造を持つ保存区画と、  
第1端部と、前記第1端部より狭小である第2端部とを有する混合要素であって、前記ハウジングの前記内部に収容されて前記棚部により前記ハウジングに支持される形態を前記第1端部が持つ、混合要素であり、

複数の開口部と、  
複数の垂直配向リブと、  
前記リブと一体的に形成されて前記複数の開口部を形成する複数の水平配向部材と、  
を含む混合要素と、  
を備える器具。

**【請求項 11】**

前記開口端部に隣接する前記壁部の外面にある複数の第1ねじ山と、前記密閉端部に隣接する前記壁部の内面にある複数の第2ねじ山とを前記ハウジングが含み、前記複数の第1ねじ山が前記蓋体の内面にある複数の第3ねじ山と協働する形態を持つとともに、前記複数の第2ねじ山が前記保存区画の外面にある複数の第4ねじ山と協働する形態を持つ、請求項10に記載の器具。

**【請求項 12】**

前記蓋体が、  
外面と内面とを有する側壁と、  
前記側壁の前記内面の一部分にある複数のねじ山と、  
前記側壁の前記内面にある従順密封部材と、  
を含む、請求項10に記載の器具。

**【請求項 1 3】**

前記蓋体がさらに第1および第2把持部材を含み、前記側壁の前記外面の一部分を形成する第1部分と、前記蓋体の上面と合致する第2部分と、前記側壁の前記内面にある前記従順密封部材に結合される第3部分とを各把持部材が有し、前記第3部分が前記側壁の前記外面から前記側壁の前記内面まで貫通する、請求項1 2に記載の器具。

**【請求項 1 4】**

前記複数の開口部が第1セットと第2セットとを含み、前記第1セットの各々が前記第2の各々より大きな面積を有し、前記第2セットから前記棚部までよりも前記第1セットから前記棚部までの方が近い、請求項1 0に記載の器具。

**【請求項 1 5】**

前記第1セットの各開口部が第1長と第1幅とを有して、前記第2セットの各開口部が第2長と第2幅とを有し、前記第1長が前記第2長よりも大きい、請求項1 4に記載の器具。

**【請求項 1 6】**

前記水平配向部材の形状が円であり、前記水平配向部材のうちの第1部材が第1直径を有して前記水平配向部材のうちの第2部材が第2直径を有し、前記第1直径が前記第2直径より大きい、請求項1 0に記載の器具。

**【請求項 1 7】**

前記水平配向部材のうちの前記第1部材が、前記ハウジングの前記開口端部の前記上面に当接する形態を持つ、請求項1 6に記載の器具。